

脳神経外科

1. 後期研修の特徴

- 1) 日本脳神経外科学会・日本脳卒中学会・日本脊髄外科学会の訓練施設である。
- 2) 脳神経外科・脊椎脊髄外科・脳血管内治療全般の研修が可能である。
- 3) 救急を含め症例数が豊富である。
- 4) 関連施設・関連学科も豊富で、最新の機器が充実している。
- 5) また、希望大学への斡旋も可能である。

2. 指導医

- 1) 川西昌浩 日本脳神経外科学会専門医、日本脊髄外科学会指導医、
日本脳血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会認定医、
大阪医科大学臨床教育助教授、大阪医科大学医学部非常勤講師
- 2) 山田誠 日本脳神経外科学会専門医、日本脳血管内治療学会専門医
- 3) 横山 邦生 日本脳神経外科学会専門医
- 4) 田中秀一 日本脳神経外科学会専門医
- 5) 伊藤裕 日本脳神経外科学会専門医

3. 修得可能な専門医

- 1) 日本脳神経外科学会専門医
- 2) 日本脊髄外科学会認定医
- 3) 日本脳卒中学会認定医

4. プログラム

■ GIO

脳神経外科専門医としてチーム医療を実践するための専門性・実力・判断力をつけるため、外科研修と学会発表・論文発表を行い最新の知識と手技を身につける。

■ SBOs

- 1) 全人的医療を実践するために適切なチーム医療・医療連携を実践する。
- 2) 指導医のもと、脳神経外科患者の基本的診断・検査・治療法を習得する。
- 3) 脳神経外科疾患の救急患者に適切に対応する。
- 4) 腰椎穿刺・ミエログラフィー・脳血管撮影などの特殊検査技術の修得。
- 5) 脳神経外科的手術・手技の修得。

■ Ls

- 1) OJT が主体である。
- 2) 指導医・主治医の指導のもと、患者を治療する。
- 3) 検査・手術手技の習得
- 4) 各種カンファレンスに参加し、積極的に学会発表・論文発表を行う。

1 年次

救急外来処置、I C U管理、腰椎穿刺、脊髄造影、脳血管撮影の助手、開頭術・脊椎手術の助手、穿頭術

2 年次

脳血管撮影の術者、脳室ドレナージ、開頭術の術者、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、V Pシャント術の術者

3 年次

開頭脳内血腫除去術、頸椎椎弓形成術、選択的血栓溶解術、STAMCA 吻合術、

4 年次

腰椎椎間板ヘルニア摘出術、経皮的血管形成術、外頸動脈塞栓術、脳動脈瘤クリッピング術、脳腫瘍摘出術、頸椎前方固定術、動脈瘤塞栓術

■ Ev

- 1) カンファレンス、検査・手術手技、学会発表・論文発表などで評価する。

5. 大学医局との関連

- 1) 大阪医科大学 脳神経外科の関連施設
- 2) スタッフは京都大学 脳神経外科、滋賀医科大学 脳神経外科からも招聘している

6. 将来の進路

- 1) 選考により、武田病院グループの病院でスタッフとして勤務ができる。
- 2) 大学院への進学、大学医局への入局、研究などは自由である。